

病院見学報告書

日 時：2024年7月9日（金） 14時00分 ～ 15時30分

訪問者：6名（香港大学看護科学部生3名・マヒドン大学看護科学部生3名）
九大引率者3名（疋田先生、松藤先生、成先生）

場 所：薬剤部、検査部、アジア遠隔医療開発センター

看護学科の依頼により、香港大学及びマヒドン大学の看護学科から6名の学生が訪問。薬剤部では、入佐先生から抗がん薬調剤ロボット DARWIN Chemo の稼働時の様子を見せながら説明を行った。副薬剤部長のグリム先生は注射薬自動払出システムや錠剤一包化監査支援システムについて説明した。残念ながらシステムの稼働は見学できなかったが、多くの質問が寄せられた。

検査部では堀田技師長が資料を用いて、九大病院の医療技術部の組織編制から検体検査自動化システムについて詳しく説明した。約120名の検査技師が働く大きな空間と少ないスタッフで稼働する時間外検査室を対照的に案内した。

アジア遠隔医療開発センターでは副センター長の工藤先生が新しく移転したセンターを案内した。真新しい遠隔会議室ではスライドを用いてセンターの業務内容や活動実績、最近の取り組みとしてメタバースを利用したVR外科会議、360度カメラを用いた手術映像配信、九大芸工学部との病院課題解決プロジェクトなど最新の取り組みについてプレゼンテーションした。マヒドン大学には Medical Design に特化した教育機関があるが、香港大学ではどうかなど活発な情報交換が行われた。

【薬剤部】



【薬剤部】



【検査部】



【検査部】



【アジア遠隔医療開発センター】



【アジア遠隔医療開発センター】

